

おとな 成人 ワクチン接種スケジュール

ワクチン名	接種回数	接種時期				対象者、注意事項
		20歳 - 49歳	50歳 - 59歳	65歳	70歳	
B型肝炎	3回	接種間隔 1回目-2回目の間は4週、1回目-3回目の間は20-24週あける				対象者：・ハイリスク者（医療従事者、透析患者、海外長期滞在者） ・予防したいひとはだれでも
肺炎球菌 (PCV13)	1回					対象者：65歳以上
肺炎球菌 (PPSV23)	1回	接種間隔 60-64歳で決められた基礎疾患をお持ちのひとは定期接種可能				定期接種対象者：・2023年度末までは、65・70・75・80・85・90・95・100歳になるひと。2019年度においては2018年度末に100歳以上のひと。・60歳以上で心臓・腎臓または呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有するひと およびHIVウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有するひと ・過去に接種歴がない 接種推奨：(1) 脾臓摘出したひとの肺炎球菌予防（健康保険適用あり）(2) 鎌状赤血球症、脾機能不全、心臓・呼吸器の慢性疾患、腎不全、肝機能障害、糖尿病、慢性髄液漏等の基礎疾患のあるひと、免疫抑制剤治療予定者（治療開始まで14日以上余裕のある場合）
破傷風 トクソイド	3回	接種間隔 5年以上あける				
三種混合 (DPT・ジフテリア・百日咳・破傷風)		接種間隔 10年ごとに1回接種				対象者：・三種混合（または四種混合）の接種歴が3回あるひと：10年ごとに1回接種 ・百日咳予防目的に妊婦や子供が生まれる家の家族（赤ちゃんの周りのひと）
MR (麻しん・風しん混合)	2回					定期接種対象者 風しん第5期：1962年4月2日から1979年4月1日生まれの男性（2022年度末まで） 接種推奨：2回の接種歴がない かつ 感染歴のないひと 注意：1990年度以前の生まれは、定期接種での2回の接種がない
水痘 (水痘・帯状疱疹)	水痘 2回 帯状疱疹 1回	接種間隔 1回目-2回目の間は1か月以上あける				対象者：水痘予防目的では、2回の接種歴がない かつ 感染歴のないひと 帯状疱疹予防目的では、50歳以上 かつ 過去に水痘にかかったひとや帯状疱疹になったひと
おたふくかぜ	2回					対象者：2回の接種歴がない かつ 感染歴のないひと
日本脳炎	3回					対象者：・接種歴が3回ないひと：3回接種 ・接種歴が3回あるひと：10年ごとに1回接種 ・日本脳炎流行地へ行くひと：1回接種 注意：北海道は2016年4月から小児に定期接種開始
インフルエンザ	毎年秋冬に 1～2回	接種間隔 ・過去に3回の接種歴がないひと 1回目のあと1-4週後に2回目、その1年後に3回目				定期接種対象者： ・65歳以上 ・60歳以上65歳未満で心臓・腎臓または呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有するひと およびHIVウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有するひと
HPV (ヒトパピローマウイルス)	2価 3回	接種間隔 1回目-2回目の間は1か月あける、1回目-3回目の間は6か月あける				任意接種対象者：予防したいひとはだれでも
	4価 3回	接種間隔 1回目-2回目の間は2か月あける、1回目-3回目の間は6か月あける				定期接種対象者：小学校6年から高校1年女子 任意：9歳以上 標準的な接種ができなかった場合、1回目-2回目の間は1か月以上、1回目-3回目の間は5か月以上、かつ2回目-3回目の間は2か月半以上あける
髄膜炎菌 (4価)	1回	接種間隔 1回目-2回目の間は2-4週、1回目-3回目の間は24週あける				対象者：2歳以上55歳以下 (1) 髄膜炎菌感染症流行地域へ渡航するひと (2) 学校の寮などで集団生活を送るひと、送る予定のひと (3) 大勢の人の集まる所に行く予定のひと（コースのキャンプ、コンサート、スポーツ観戦など） (4) ハイリスク患者（HIV感染症、補体欠損症、無脾症、ソリリス治療患者など）
A型肝炎	3回					対象者：・A型肝炎流行地へ渡航するひと ・予防したいひとはだれでも

不活化ワクチン
接種間隔は中6日

生ワクチン
接種間隔は中27日

法律に定められた期間で接種した場合は一部自己負担（公費負担）。

接種費用は自己負担（自治体によっては接種費用の助成があります）ですが、ワクチンの必要性は定期と同じです。

定期接種の推奨期間

定期接種の可能期間

任意接種の推奨期間

任意接種の可能期間

Tel: 06-6439-7337



医療法人 焔仁会
森川内科クリニック

